

# 令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 共助社会づくり課

担当名: 担い手支援担当

内線: 2838

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B5	共助の担い手養成事業費			一般会計	総務費	県民費	県民活動推進費	共助による地域のきずなづくり推進費		
事業期間	令和元年度～ 令和4年度	根拠法令	なし				宣言項目 分野施策	061454 多様な主体による地域社会づくり	SDGsゴール SDGsターゲット	
1 事業概要				5 事業説明						
<p>仕事やこれまでの生活で培った経験やスキルを生かしたボランティア活動を、退職者を中心に広く働きかけ、地域課題の解決に取り組むNPOを支える人財の掘り起こしを図る。</p> <p>また、NPO等のニーズに合わせた人財を活用し、コロナ後の社会におけるボランティア活動を促進することや、担い手同士の交流を図ることで、NPO等地域活動の担い手が持続可能な共助の仕組みを構築する。</p> <p>(1) イベント等開催経費の減に伴う減額 △710千円</p>				<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 人財活用・交流事業 479千円 (当初 1,032千円) 共助によるコミュニティづくりなどの最新事例を共有するとともに、担い手同士の情報交換・ネットワークの拡大を目的としたフォーラムを開催する。 また、NPO個々のニーズに合わせた細やかな助言を、県内各地で実践することで地域活動の担い手であるNPOへ実践的かつ継続的な支援を実施する。 新規人財の確保手段として、退職者向け説明会等での制度の広報や、既存の専門家ボランティアへの取材を踏まえた活動紹介を行う。</p> <p>イ 新しい輪づくり事業 574千円 (当初 731千円) 地域振興センター・事務所をハブとして、市民活動サポートセンター等と連携し、NPO等共助の担い手同士の交流を図るとともに、新たな共助の担い手の育成・確保につなげる。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 人財活用・交流事業 担い手フォーラムの開催、NPOサテライト相談会、専門家ボランティア・活動レポートでの広報</p> <p>イ 新しい輪づくり事業 各地域振興センター・事務所においてセミナー・交流会を開催</p> <p>(3) 事業効果 地域課題の解決に取り組むNPO等に対し、活動実態に合わせた直接的な支援と、担い手同士の連携を促進する間接的な支援の両方を展開することで、団体に合わせた多様な手段での持続可能な活動を支援し、一時的な資金的支援だけではない共助の仕組みによる地域活動の活性化を実現することができる。</p> <p>(4) 補正予算の概要 イベント等開催経費の減に伴う減額</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円										
				財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額	
予算額										
決定額	△710								△710	1,053
現計額	1,763								1,763	